# 接続方法とプロバイダーの選択

個人でインターネットを利用するためには、インターネットに接続するサービスを提供している会社と契約する必要があります。この会社のことを「プロバイダー」または「インターネットサービスプロバイダー（ISP）」といいます（以下「プロバイダー」と記載）。自宅のパソコンとインターネットをつなぐ役割を果たしてくれるものです。まずは、プロバイダーをどこの会社にするか、そのプロバイダーと自宅間を接続する方法を何にするかということを選択する必要があります。

また、インターネットに接続する方法には、「光ファイバー」や「ADSL」などの種類があります。どの回線を使ってインターネットに接続するかが決まったら、回線事業者との契約も必要となります。多くのプロバイダーは、回線事業者とセットで申し込めるようになっていたり、料金をまとめて支払えるようになっていたりするので、自分の好みと目的にあった接続サービスを選択するとよいでしょう。多くのプロバイダーのホームページには、接続サービスについての記載があります。

## 1-1 接続方法の選択

接続方法にはいろいろな種類がありますが、現在、多くの人が利用している接続方法は、「光ファイバー」や「ADSL」などです。これらの接続方法は「ブロードバンド」の代表とされ、個人宅でインターネットを楽しむ場合に多く利用されています。

* 光ファイバー

「光ファイバー」は、安定した高速通信を実現できる接続方法です。電線などを利用して光ファイバーの回線を各家庭まで敷設し、屋内では電話回線の引き込み口などを利用して回線を利用します。そのため、回線事業者による工事が必要となります。また、この接続方法では、「回線終端装置」といった機器が必要となります。

* ADSL

「ADSL」は、一般の電話回線を使って高速通信を実現できる接続方法です。ひとつの電話回線を音声通話（通常の電話）とデータ通信とで共有します。電話局での工事が必要となりますが、自宅での工事はほとんどの場合必要ありません。また、この接続方法では、「ADSLモデム」や「スプリッタ」などの機器が必要となります。

* その他の接続方法

光ファイバーやADSLなどの接続方法のほかに、次のような接続方法があります。

|  |  |
| --- | --- |
| 接続方法 | 説明 |
| 専用線 | 特定の拠点同士をつなぐ専用の線による接続方法です。企業などでよく使用され、個人宅で使用することはほとんどありません。 |
| PLC | 家庭内の電力線を使用する接続方法です。コンセントにPLCアダプターを取り付けることで家庭内のネットワークを構築することができます。 |
| 無線LAN | 電波や赤外線などを使用する接続方法です。駅や空港、飲食店などに設置されている「ホットスポット」と呼ばれる空間でインターネットに接続できます。 |

## 1-2 プロバイダーの選択

日本国内には多くのプロバイダーがあります。居住地域などを考慮しなければならない場合もありますが、自分の目的やスタイルにあったサービスを提供しているプロバイダーを選択するとよいでしょう。プロバイダー選びのポイントは次のとおりです。

* サービス内容が自分のやりたいことにあっているか
* 利用料金の体系に納得ができるか
* サポート体制が整っているか
* 自分の利用したい接続方法に対応しているか